

広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします

# 宮若生活

Public Relation Magazine Miyawaka city

特集  
注連縄

伝統工芸を受け継ぐものたち

1

2012  
NO.072



# 教育先進都市・宮若に 駆ける一年へ

**明** けましておめでとうござい  
ます。市民の皆さんには、  
平成24年の新春を健やかにお迎え  
のこととお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災や台風によ  
る豪雨など未曾有の災害に見舞わ  
れた一年でしたが、その中で「絆」  
という言葉に締めくくられたよう  
に、日本人のつながりがまだまだ  
失われていないことに、勇気づけ  
られた年でもありました。

「つながり」。  
私も家を火事で失ったとき、地  
域のつながり、また人とのつなが  
りに助けられました。宮若市には  
しっかりとしたつながりがありま  
す。

さらに、東日本大震災では限定  
的な地域ではなく、日本全体が一  
つになって取り組んできたよう  
にも感じます。そのような意味でこ  
れからも被災地の復興に向けて支  
援していかなくてはなりません。

りて改めてお礼を申し上げます。

その中でも特に私の胸を打った  
のが、節句の祝金を義援金にして  
くれたエピソードです。小さな子  
ども達も被災地を思い、行動して  
くれたのです。中には多額なお金  
を寄せてくれた市民もいます。そ  
のようなことはなかなかできるこ  
とではありません。そんな皆さん  
の心温まる思いを、被災地に届け  
ることができたのは本当に良かつ  
たと感じています。

## 教育先進のまちづくりへ

宮若市も六年目を迎えようとし  
るなか、都市基盤整備はその全体  
像が見えてきたように感じます。  
これからは、私の強い思いでもあ  
ります中学校の再編を含む教育先  
進のまちづくりに取り組んでいき  
たいと思います。

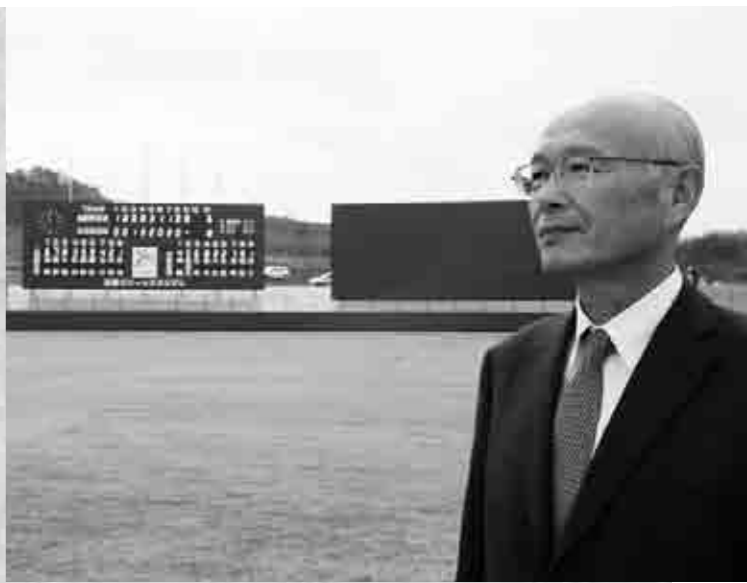
そして、今年はその道筋をつけ  
ていきたいと考えます。中学校の  
再編では今月の広報でもお伝えし  
ているとおり、学校名も決まり、  
校章、校歌の歌詞フレーズの募集

平成24年有吉哲信市長、新春インタビュー

## interview



(仮称)東地区中学校の完成予定図。生涯教育の場  
として地域に開放するインテリジェントスクールの  
機能を併せ持つ、中学校を目指していきます。



光陵グリーンスタジアムの視察に訪れた有吉市長。電光掲示板や芝の感触  
を確認しながら、今年1年のまちづくりへの思いを話して頂きました。

も行います。新しい学校の教育方  
針についても、今後皆さんにお知  
らせたいと思っています。

一方、幼児教育も、市長就任以  
来、一貫して訴えてきました0歳  
から2歳までは保育、そして3歳  
から就学前までは教育を展開する  
という「一貫した就学前教育」の  
実現に向けて一歩を踏み出すこと  
ができました。

具体的には、多くの皆さんから  
望まれていた若宮幼稚園における  
三歳児教育の導入や子育て支援セ  
ンターの拡充になります。子ども  
は3歳までにどのような家庭教育  
のもとで過ごすかで、その後の人  
格形成に大きな影響を与えます。  
今、核家族化が進んでいることか  
ら行政がその中に入って、これ  
からを背負っていく人材を育成し  
ていく支援が求められています。

宮若市長として二期目も後半に  
差し掛かるうとする中、ローカル  
マニフェストの核である子育て施  
策と教育環境の充実に全力で着手  
できることは自分自身にとっても、  
楽しみな一年でもあります。

教育先進のまちとして何をどう  
するのか、その全体のビジョンを  
皆さんに早く、お見せできる一年  
となるように、今年も全力で市政  
運営に臨んで行く所存です。ご期  
待ください。

## どんな時代になろうとも、 伝統工芸を守る男たちがいる

# 注連縄

【しめなわ】

**注連縄**。お正月には各家庭の玄関に見ることができ、新年の始まりを連想  
する人も多いのではないのでしょうか。その役割を皆さんはご存じでしょうか。  
神聖な領域を区別するために奉るもので、災いなどの侵入を防ぐ意味もあ  
ります。実は日本古来から伝わるこの注連縄も、今ではその六割が海外か  
らの輸入とのこと。

そんな中、日吉地区の農家の皆さんは先代から伝わる注連縄づくりを脈々と  
継承し、今に伝えています。

「どんな時代になろうとこの土地の伝統工芸を守っていきたい」。  
JA直鞍農協しめ飾り部会の会長を務める安田克徳さんは静かにそして、  
力強く語ります。

これまで以上に一つの願いを込めた今年の注連縄への思いに迫ります。



「注連縄と言えば、日本古来のもので、その全てが国産だと思われがちですが、現在ではその多くが輸入品なんです。」

J A直鞍農協しめ飾り部会の会長を務める安田克徳さんは、現状から話し始めます。

「産地はアジアがそのほとんどです。見てのとおり、注連縄は細かな作業が求められるため機械による大量生産ができるものではありません。そのため、人件費の安い中国や東南アジアの国から年末にかけて大量に輸入されるのです。それでもまだ、注連縄を飾る家庭は良いのですが、今、本当に少なくなっただよように感じます。日本の大切な伝統行事なのですが…」

## 一年をかけて作る

この日吉地区では多くの農家がしめ飾りを作っていたとのこと。部会ができたのは十年ほど前にさかのぼります。

「しめ飾り部会ができるまでは、それぞれ個別に取り組んでいました。というのも、出荷数がそこまで多くなかったこともあり、部会結成のきっかけとなったのは大手のスーパーから注連縄のほか、お正月のものを納入できないかというお話しをいただいたのです。個数も大きなものでした。とても個人で対応できるものではなかつ

たので、周囲に声をかけたのがその始まりです。現在は十三人ですが、以前はもっとと会員がいたんですよ。しめ飾り部会として活動することでまとまった数を出荷することが可能になりました。」

一般的に注連縄づくりはお米を出荷する生産者が冬の期間に比較的の時間があるために行う副業をイメージさせますが、それは間違いだと安田さんは語ります。

「忙しいのは12月21日ぐらいからです。注連縄にあるユズリ葉や裏白、橙を付けるのは出荷の直前に行くためです。早くやってしまうと、橙が腐れたりして商品にならないんです。もつといえ、注連縄は一年をかけて作るという過言ではありません。」

しめ飾り部会ではおおよそ三種の注連縄を作っています。福岡地方では竹をつかったシンプルなもの、北九州方面やこの筑豊地区は円形で赤と白の和紙を巻いたものが一般的です。一年をかけて作るというのは、和紙などの飾りを用意したりすると、すべてが手作りなため、そして個数が多いことから必然と時間がかかってしまうのです。

「わざわざ収穫したそのままだは使えませんから、きれいにすいて、乾燥させなくてはなりません。一つひとつの作業を見ていけば非常に手間暇かかっているのがわかると思います。」

### JA直鞍農協しめ飾り部会

## 伝統工芸を受け継ぐ13人の男たち

日吉の伝統工芸の1つでもある注連縄づくり。その他にも、お正月には欠かせない門松なども手作りしている皆さんがいます。JA直鞍農協しめ飾り部会の13人です。部会発足へのきっかけから課題まで、会長の安田克徳さんに伺います。

※1 井上照明さんはご本人の希望により写真は掲載しておりません。

- しめ飾り部会会員
- 01 野見山雄次さん
  - 02 松尾和廣さん (副会長)
  - 03 安田克徳さん (会長)
  - 04 清水重幸さん
  - 05 渡辺博伸さん
  - 06 安田澄男さん
  - 07 松尾正弘さん
  - 08 野見山義宏さん
  - 09 野見山幸久さん
  - 10 渡辺久和さん
  - 11 野見山 正さん
  - 12 野見山国利さん
  - 13 井上照明さん ※1

## 伝統を伝える

「さきほど、外国からの輸入品が六割をしめていると話しましたが、だからといって、私たちが作る量が減ってきているのかといえ、実はそうではないんです。」

注連縄が必要なくなることはないのですよ。日本には欠かせないものだから。広い視点で考えれば年々生産者が減ってきていることから、作ることができるところに集中していきます。」

09 野見山幸久さん

08 野見山義宏さん

07 松尾正弘さん

10 渡辺久和さん

03 安田克徳さん

02 松尾和廣さん

01 野見山雄次さん

04 清水重幸さん

05 渡辺博伸さん

06 安田澄男さん

12 野見山国利さん

11 野見山 正さん







### その3 地域のつながりをつなぐ

12 月に入ると、注連縄のほか、お正月に飾る門松などの製作も忙しくなります。

グリーンハート安田花卉では、この繁忙期に地域の皆さんと一緒に準備にあたります。プラスチックなどを使った製品も多く出回る中、手間暇を掛けて作られたものはやはり、違います。

「注連縄を始め、このような日本の

伝統であるお正月を彩るものは、少なくなっていくことはあっても、決してなくなることはありません。全国で生産者が減ってくる現状を逆手にとって、この地で生産することができたら、地域活性化にもつながっていくのではないのでしょうか。

地域のつながりをつなぐ大きなきっかけにもなります」と安田さんは話します。

### その4 震災を忘れないためにも



12 年は東日本大震災のほか、紀伊半島で猛威をふるった台風など自然災害が多く発生した年でした。その結果、多くの方が亡くなったり、住むところを失いました。注連縄や門松づくりに携わる生産者にとっても、今まで以上に今年を良い年にしたいという願いが込められていると安田さんは語ります。



「このように伝統工芸を受け継いでいく人が少なくなっています。注連縄などは決してなくなりません。作れる人のところに集まってくるのです。それがチャンスと考える一つの理由です。この日吉の地には、花材を始めとする農業を行う上での魅力がたくさんあります。そこをアピールすることで、人を集め、育成していくことができれば、地域の活性化になり、さらに市にとってもプラスになるのではないかと考えます。」

現在はいしめ飾り部会十三人で行っていますが、これからも地域の伝統をしっかりと継承していくと同時に、さらに人と人をつないでいけたらいいですね。」

### その2 注連縄を構成する数々

12 ほど紹介したように地域によって注連縄の形は異なってきます。しかし、そこに使われている材料は大きく変わることはありません。

筑豊地区や北九州地区の注連縄には①のしらが巻かれています。福岡地方のものにはありません。その他の、②ユズリ葉や③裏白、④橙は共通しています。

使われるどれも縁起が良いものとなっています。

ユズリ葉は「親は子供が成長するのを待って後



を譲る」という意味で使われ、裏白も「葉の裏が白いこ

とから、夫婦が白髪

はえるまで共にいられる」という意味があります。橙も親子代々の健勝を祝うもの。地域によっては昆布やスルメなども使われるとのこと。注連縄は1年のスタートを縁起良いものにしたいという、強い気持ちが込められています。

注 連縄はその地域ごとに形や使う素材などが異なっていることをご存じでしょうか。

宮若市を始め筑豊地区では下に大きく取り上げている注連縄が一般的です。今ではよくミカンがついていますが、本来は橙を飾るのが正式です。福岡近郊は竹を使ったシンプルなもの。そして北九州地区は筑豊地区のものによく似ていますが、のしでわらを包んでいるため、豪華に見えます。その他にも大根締め、ゴボウ締め、輪飾りなど地域の風習によってさまざまな形があり、最近では洋風建築にもあうようにトリス型もあるとのこと。

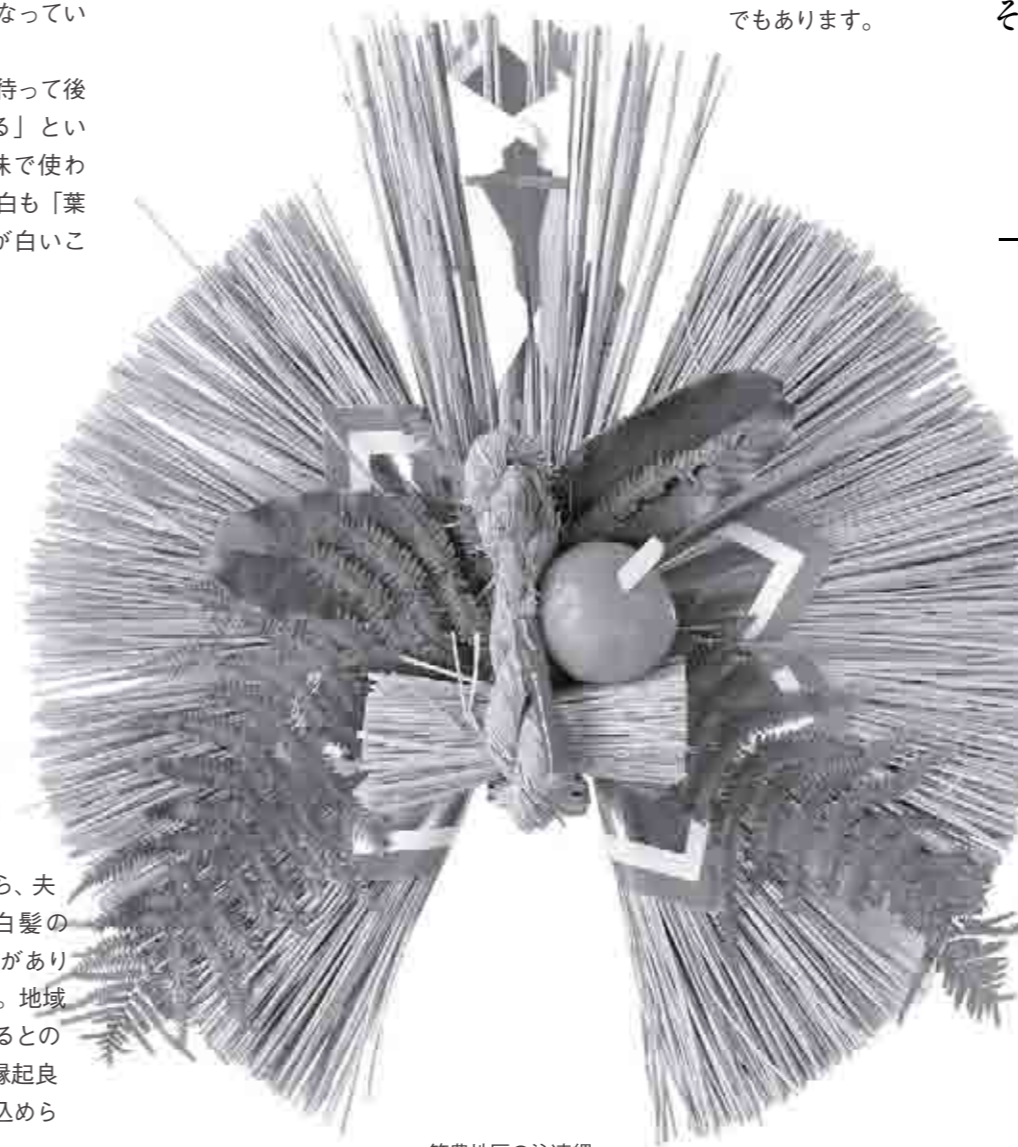
飾る期間も小正月である1月15日までが一般的ですが、年中飾るところもあります。地域の特色や伝統が反映される1つでもあります。



福岡地区の注連縄

北九州地区の注連縄

### その1 地域で変わる注連縄の形



筑豊地区の注連縄

しめ飾り部会の注連縄を読み解く4つのキーワード

## 13人の男たちはこの先、どのように伝統をつないでいくのか

13人が丹精を込めて作った注連縄は福岡や北九州などの都市圏を始め各地に出荷され、各家庭などの玄関に飾られます。

私たちのまちでこのような工芸品が生まれていることを知らなかった人も多かったのではないのでしょうか。これからもこの伝統を継承していくためには何が必要なのでしょう。

特別な思いで迎える

「今まで注連縄をしていなかった人も、今年には飾った人が多いのではないかと思っています。安田さんはこれまでとは違う特別な一年になると感じています。」

「昨年は東日本大震災を始めとする自然災害などで多くの人が亡くなったり、また経済状況をもみても良い状況が続いているとは思えません。早く新年を迎えて、何かリセットするような、新しい気持ちで新年を迎えたいという思いをもった人がたくさんいるのではないかと思っています。そんなとき、これまでは飾ったことがなかった人たちでも、注連縄や門松を飾って気持ちを引き締めようとする人がいるのではないかと思うのです。」

そんなとき、この宮若で私たちが手間暇をかけてつくった注連縄を手にとってくれたら、これほどうれしいことはありません。食品を始め、地産地消はいろいろなところで言われていますが、私たちが手掛ける注連縄なども同じだと思います。」

今回は私のところだけでも、四千ほどの注連縄を作りましたが少しでも多くの皆さんが手にしてくれればとてもうれしいです。その多くが市場に流れ、福岡や北九州などで販売されることになりました。日吉地区で注連縄などを始めとす

る伝統工芸があることを知っていただき、そして手にしていただくことで、私たちもそれを受け継いでいくことができます。」

### 人と人を繋ぐ

注連縄に限らず私たちのまちにある伝統工芸はこれからも大切に残していかなければいけません。」

しかし、安田さんの話にもあるように後継者やその育成という課題が大きな壁となっているのです。「大変厳しい状況にあることは変わりませんが、考えようによってはチャンスでもあるんです」と、話を続けます。

「このように伝統工芸を受け継いでいく人が少なくなっています。注連縄などは決してなくなりません。作れる人のところに集まってくるのです。それがチャンスと考える一つの理由です。この日吉の地には、花材を始めとする農業を行う上での魅力がたくさんあります。そこをアピールすることで、人を集め、育成していくことができれば、地域の活性化になり、さらに市にとってもプラスになるのではないかと考えます。」

現在はいしめ飾り部会十三人で行っていますが、これからも地域の伝統をしっかりと継承していくと同時に、さらに人と人をつないでいけたらいいですね。」





広報担当がどこにも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

# Miyawaka Watching

## わかり合えるって気持ちいい

### ▶ 人権講演会

12月5日、マリーホール宮田で人権講演会を行いました。4日から始まる人権週間に併せて毎年行っているものです。

全国中学校人権作文コンテストで直方人権擁護委員協議会「優秀賞」となった清水ひかりさん（写真）と松山翔さんの作文の発表後には、本市の男女共同参画計画の策定に携った高木里美さんが「もっと自分らしく輝くために」と題し、講演しました。

ドメスティック・バイオレンスの発生件数など具体的な数字を提示しながら、お互いを尊重したコミュニケーションの方法について会場の皆さんと一緒に考えました。



## 今年も元気に過ごせますように

### ▶ 認定子ども園の4歳児、5歳時が年賀状を投函

12月20日、認定子ども園さくら幼稚園の4歳児と5歳児、57人が手作りした年賀状を近くの磯光郵便局に持っていきました。

この取り組みは毎年行っているもので、手作りした年賀状を送ってお父さん、お母さんを驚かせることと同時に、幼稚園の回りにどのような施設があるのかを実際に見て、体験することも目的の1つです。

郵便局員さんに元気よく渡す園児たち。米丸夢生君は、「今年もお姉ちゃんと仲良く遊べるような1年になったらいいな。辰の絵も描いたよ」と、早く家に届くのを楽しみにしていました。



## 丹精込めた力作がズラリ

### ▶ 笠松なびき展

12月3日、4日の2日間をかけて、笠松研修センターで笠松地域の皆さんの力作が並ぶなびき展が行われました。今年で7回目となるこの展示会。44人、4つの団体の皆さんの作品が所狭しと展示されました。

220人の皆さんが来場し、訪れた人の目を楽しませ後には、ぜんざいが振る舞われました。今回のなびき展では東日本大震災で被災した皆さんを支援する目的で募金も行い、日本赤十字社を通じて届けられます。



## 安全・安心のまちづくりを誓う

### ▶ 歳末安全・安心住民大会

11月30日、宮田文化センターで歳末安全・安心住民大会を行いました。安全安心なまちづくりを一層進めるため毎年行われているもので今年で5回目となります。

県警の皆さんの劇による交通安全教室や婦人会の皆さんによる夜間の視認性を確認するファッションショーなどを行った本大会。最後には第一保育所の園児も見守る中、車両視閲部隊出発式も行われ、市内のパトロールにあたりました。これからも引き続き取り組んでいきます。



## 冬の風物詩が登場

### ▶ 日本一の大門松祭

12月4日、ドリームホープ若宮前広場で日本一の大門松祭が行われました。市の観光協会が主催している大門松祭は今年で15回目。市の冬の風物詩として定着し多くの皆さんが来場します。

今年の干支である辰の絵馬を描いたのは宮田小学校3年生の児童たち。門松に負けない力作となっています。会場では餅まきの他、手打ちそばの販売もあり、完成した門松と今年1年を振り返りました。

1月15日の正午からは、同じ会場でどんど焼きが行われ、七草がゆも振る舞われます。今年1年の無病息災を祈りませんか。（問い合わせ 宮若市観光協会 ☎55・9090）



## 我が家の愛どる。

市内にお住まいで、満3歳までの宮若っ子を募集しています。2月生まれで掲載を希望する人は、1月16日までに本庁秘書広報係、支所市民グループまでお申し込みください。

※ 今月の我が家の愛どるは応募件数が多いことから、20ページのリーダーズスタイルのコーナーにも掲載しています。



あらまき ゆきの  
荒牧 ゆき乃ちゃん  
H 23年1月4日生  
(水原)

1歳のお誕生日おめでとう。甘えん坊で食いしん坊なゆきちゃんがどんな女の子に成長するのか、とても楽しみです。



ありよし たくま  
有吉 琢真ちゃん  
H 23年1月26日生  
(竹原)

琢真くん、1歳のお誕生日おめでとう。元気にすくすく育つね。



いりえ まこ  
入江 真子ちゃん  
H 22年1月30日生  
(四郎丸)

いつも元気なまこちゃん。これからもたくさんあそぼうね。



いわした かいと  
岩下 海仁ちゃん  
H 22年1月28日生  
(磯光)

お誕生日おめでとう。これからも元気で大きく育つてね。



いわた こうせい  
岩田 好誠ちゃん  
H 23年1月16日生  
(磯光)

やんちゃ好誠♡おてんば由紀奈、お誕生日おめでとう！お兄★かい兄といつまでも4人仲良くいてね。あなたたちはパパとママの宝物だよ♡



いわた ゆきな  
岩田 由紀奈ちゃん  
H 21年1月5日生  
(磯光)



たかす ひとし  
高須 一志ちゃん  
H 23年1月25日生  
(倉久)

一志君★1歳のお誕生日おめでとう！いつもお礼口さんでいてくれてありがとう！



ともだ りあむ  
友田 利亜夢ちゃん  
H 23年1月7日生  
(宮田)

利亜夢、1歳のお誕生日おめでとう♡いつも悪さばかりしている利亜夢、だけどこれからも元気に明るく育つてね♡



なかお しゅうわ  
中尾 周和ちゃん  
H 22年1月30日生  
(沼口)

2歳のお誕生日おめでとう。これからもたくさんご飯を食べて大きくなってね。



はやし そうた  
林 奏汰ちゃん  
H 21年1月13日生  
(磯光)

3歳のお誕生日おめでとう。乗り物大好きな奏ちゃん。大きなトミカに乗って、ドクターイエローを見に行こうね。





みやわか  
M for More. Info

定住促進

## 定住促進へ 固定資産税相当額の奨励金を交付しています

●問い合わせ 本庁まちづくり推進係 ☎ 32・0512

### 奨励金申請件数、交付金額

とき	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (見込み)
新規交付件数	43件	52件	85件
交付積算件数	43件	95件	180件
交付金額	2,474,000円	6,168,000円	11,739,000円

**市**では、定住人口の増加を促進するために、新築や中古住宅を購入した人に固定資産税相当額の奨励金を七年间に渡って交付する制度を行っています。(年間十五万円まで)

平成21年度から始めたこの制度ですが、大変好評を頂いています。ここでは、これまでの申請件数と併せて、対象となる住宅や土地について説明します。申請手続きの詳しい内容については

4月1日発行の広報みやわかでお伝えします。  
本年度の申請受付は10月31日をもって締め切りです。

**定住奨励金の対象物件**

玄関、トイレ、台所、浴室や居室があり、床面積が五十平方メートル以上、分譲マンションの場合は四十平方メートル以上、二百八十平方メートル以下の住宅が対象となります。

また、対象となる住宅を建設するために取得した土地で面積が三百三十平方メートルを越える部分については対象外となります。

これらの条件のもと、平成20年1月2日から平成24年12月31日の間に登記が完了したものとなります。赠与や相続されたもの、建て替えなどは対象外となります。

この定住促進施策の対象は12月31日までとなります。宮若市で住宅の取得を考えている皆さんはぜひ、ご利用ください。

申請の不明な点については、本庁まちづくり推進係までお問い合わせください。



みやわか  
M for More. Info

臨時職員希望者の登録

## 宮若市臨時職員希望者の登録を 始めます

●問い合わせ 本庁総務グループ ☎ 32・0511

### 募集要項

職種	一般事務	保育士	幼稚園教諭
賃金(日額)	5,800円 時間外、期末手当あり	6,500円	6,500円
勤務日	月曜日～金曜日	月曜日～土曜日 (平日に振替休日あり)	月曜日～金曜日
社会保険など	有(任用期間が2カ月を超える場合のみ)		
必要な資格	なし	保育士資格	幼稚園教諭免許
受付期間	1月10日☎から3月9日☎まで		
雇用期間	6カ月を超えない範囲内の期間(更新1回まで)		
任用までの手順	必要に応じて面談を行います。日程については別途通知します。 4月1日以降に順次任用を行いますので採用時期は未定です。 *申し込みにより任用が確定するわけではありません。 *申込書の有効期限は平成25年3月31日☎までです。		

**宮**若市では、市内や近隣に居住している人(学生は除きます)を対象に4月1日以降に任用する臨時職員を希望する人の登録を受け付けます。希望する人は、申請が必要となります。

**職種** ▼一般事務▼保育士▼幼稚園教諭

**勤務時間** 午前8時30分から午後5時15分まで

**登録方法** 所定の様式に必要事項を記入の上、本庁総務グループに提出し

てください。(郵送可)

**様式の入手方法** 宮若市ホームページからダウンロードするか、本庁総務グループで配布(申込書の郵送請求はできません)

**申込書の有効期限** 平成25年3月31日☎まで

**受付期間** 1月10日☎から3月9日☎まで(土日、祝日は除きます)、午前8時30分から午後5時15分まで

\*郵送の場合は締切日の消印有効

学校再編

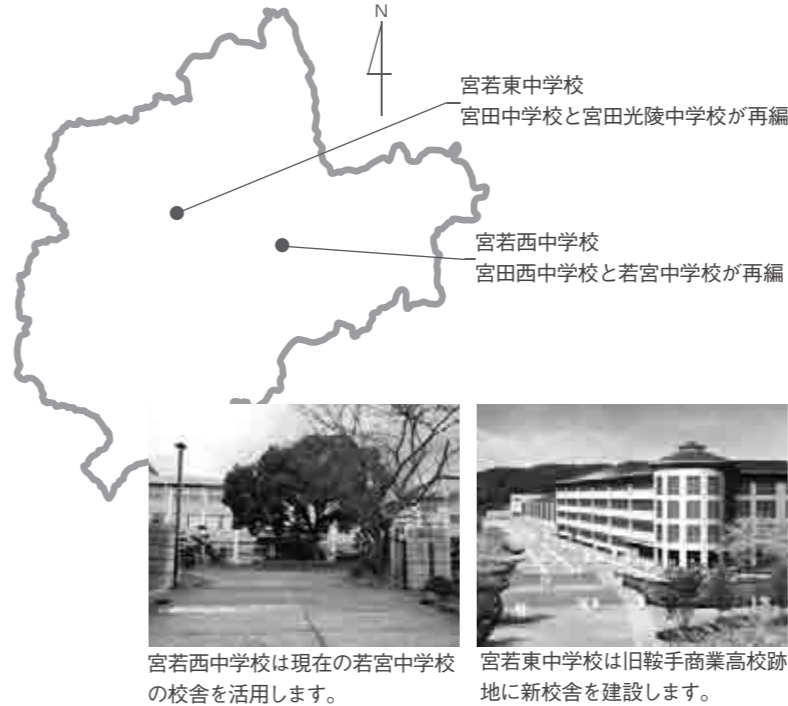


みやわか  
M for More. Info

## 中学校再編へ 校章、校歌歌詞フレーズを募集します

●問い合わせ 本庁学校教育課管理係 ☎ 32・1007

### 中学校再編



**平**成25年4月に開校を目指す再編後の中学校の校名は、広報みやわかなどを通じて募集を行いました。東地区中学校に八百四十七件、西地区中学校に八百十七件と市内の中学生をはじめ多くの皆さんから応募をいただきました。教育委員会では、その応募校名のすべてを中学校準備委員会に提案し、慎重に協議、選考を行いました。その結果、次のとおり校名を決定しましたので、皆さんにお伝えします。

●東地区 宮若市立宮若東中学校(宮田中学校と宮田光陵中学校が再編)

●西地区 宮若市立宮若西中学校(宮田西中学校と若宮中学校が再編)

**校章デザインを募集します**

新しく名前が決まりました宮若東中学校と宮若西中学校が開校するに併せて、校章デザイン案を募集します。

次の応募要領にそってそれぞれ

の学校の校章デザイン案を応募してください。

**応募条件** ▼未公表のオリジナル作品であること

▼採用された場合、作品の著作権は宮若市に無償で譲渡していただくこと

▼採用された場合、作品への補正を同意していただくこと

▼すべての応募作品は、返却をしません。

**応募資格** 本市の児童生徒を含め、市内に住んでいる人、また勤めている人。さらに、市外からの応募も受け付けます。

**応募方法** ▼宮若市公式ホームページの応募用紙や本庁舎、市教育委員会で配布している応募用紙を使用してください。

▼応募にあたっては校章デザイン案、住所、名前、年齢、電話番号を記載してください。

▼締切までに直接持ってくるか、封書による郵送、ファクス、電子メールでお願いします。また電子メールの場合は、表題を「中学校校章応募」と忘れずに記載してください。

**応募締切** 2月29日☎まで

**選定方法** 応募された校章のデザイン案については、それぞれの学校の地区準備委員会で選考します。

**結果発表** 広報みやわか「宮若生活」や宮若市公式ホームページで公表します。

**校歌歌詞フレーズを募集します**

宮若東中学校と宮若西中学校のそれぞれの校歌の歌詞フレーズを募集します。

**応募条件** ▼再編前の各校の歴史や伝統を重んじながら、新たな中学校の前進を表す校歌

▼生徒や地域の市民に愛され、長く歌い継がれる校歌

**応募資格** 本市の児童生徒を含め、市内に住んでいる人、また勤めている人。さらに、市外からの応募も受け付けます。

**応募方法** ▼宮若市公式ホームページの応募用紙や本庁舎、市教育委員会で配布する応募用紙を使用してください。

▼応募にあたっては校歌に入りたい歌詞のフレーズ、住所、名前、年齢、電話番号を記載してください。

▼締切までに直接持ってくるか、封書による郵送、ファクス、電子メールでお願いします。また電子メールの場合は、表題を「中学校校歌応募」と忘れずに記載してください。

**応募締切** 2月29日☎まで

**選定方法** 応募された歌詞のフレーズについては、各地区準備委員会でご検討します。

**結果発表** 広報みやわか「宮若生活」や宮若市公式ホームページで公表します。



みやわか M for More Info 資源拠点回収

## 資源回収を利用して ごみ減量化に取り組んでみませんか

● 問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎ 32・0516

回収日	時間	ところ
第1週目 日曜日	午前9時から 正午まで	くらじクリーンセンター ストックヤード棟
第2週目 日曜日	午前9時から 正午まで	本庁裏駐車場（福祉事務所前） 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
第3週目 日曜日	午前9時から 正午まで	くらじクリーンセンター ストックヤード棟
第4週目 日曜日	午前9時から 正午まで	本庁裏駐車場（福祉事務所前） 若宮コミュニティセンター「ハートフル」

**市**では、ごみとして捨てられている資源物を有効に利用し、ごみの減量を図るため、資源物の拠点回収を行っています。

毎月広報みやわかでも資源物回収の量をお伝えしていますが、平成22年度は約八十トンもの資源を持ち込んでいただきました（本庁・若宮コミュニティセンター「ハートフル」集計分）。毎年利用されている皆さんの、リサイクルされる資源物量も増えてきています。ごみ減量化とリサイクルにご協力いただき

き、本場にありがとうござい  
ます。  
家庭内で分別を徹底すると驚くほどごみが減ります。あなたも資源回収を利用してみませんか。週によって回収場所が異なりますのでご注意ください。



ペットボトルや空き缶を持ち込む場合は、事前に洗浄をお願いします。

● 対象 ▼ 空き缶  
空きビン  
ペットボトル  
白色トレイ  
イマ発泡スチロール  
▽衣類  
▽紙類（新聞、ダンボール、雑紙、牛乳パック、その他の紙）

※ 汚れがついていないものが対象となります。空き缶、空きビン、ペットボトル、白色トレイはよく水洗いしてください。

みやわか M for More Info 自治会ではさまざまな活動を行っています

## 地域で人と人とのつながりを大切に 自治会に参加しよう

● 問い合わせ 本庁まちづくり推進係 ☎ 32・0512

**自治会**とは「町内会」「行政区」などとも呼ばれ、隣近所に住む人たちが自主的に運営されている最も身近な住民自治組織です。その地域に住む人たちが日ごろから連帯感を深め、情報交換や地域で共通する課題をみんなで協力して解決し、ふれあいのある快適なまちづくりを目指して活動しています。

**なぜ自治会が必要なのか**

市民の皆さんにとって最も身近な組織である自治会は、皆さんの生活に密着した活動や地域のつながりづくりを行っています。地域のつながりを強めることで、住みよい地域ができ、緊急時の助け合いもスムーズに行うことができます。

また、市では市民の皆さんとの協働のまちづくりを目指しています。現状では、市の職員だけで地域の問題や必要に応じた活動を行うのは難しく、その活動内容も限られてしまいます。

そこで、各自治会と市とが連携し、共に良い地域づくりを目指していくことが必要になります。

**自治会加入パンフレットがあります**

自治会活動をまとめたパンフレットを用意しています。お尋ねください。

みやわか M for More Info 常勤講師・特別支援教育支援員の募集登録

## 市立小学校常勤講師と特別支援教育支援員の募集登録を受け付けます

● 問い合わせ 本庁学校教育係 ☎ 32・1007

**市**教育委員会では、市内小学校の常勤講師と特別支援教育支援員の募集登録を行います。

**小学校常勤講師の登録**

- 登録資格 小学校教諭の免許状を持っている人
- 勤務時間 週三十時間以上四十時間未満
- 月額 十七万五千円
- ※ 通勤手当や期末手当、年休十日を付与します。社会保険や雇用保険、労働災害補償保険もあります。
- 勤務場所 市内小学校
- 登録方法 市販の履歴書と教員免許状（写し）を本庁学校教育係に提出してください。
- 申込方法 郵送での受け付けもできます。締切日の消印まで有効。郵送の場合は免許状の写しを添付してください。
- 申込締切 3月1日 困まで、午前8時30分から午後5時15分まで
- ※ 履歴書による書類選考の上、欠員が生じた時点で、登録者の中から面接を行います。（任用は4月1日以降となります）
- 任用期間 一年間（更新あり）

**特別支援教育支援員の登録**

小中学校で特別に支援を要する児童生徒の、学校生活を支援する支援員の募集登録を行います。

- 登録資格 特別支援教育や発達障害に理解があり、児童生徒の支援ができる人（資格不問ですが、教員経験者や障害者ヘルパーの有資格者を優先的に任用することもあります）
- 勤務時間 開校日の週二十時間以上二十九時間
- 時給 九百円
- ※ 労働災害補償保険があります。
- 勤務場所 市内小中学校
- 登録方法 市販の履歴書を本庁学校教育係に提出してください。（郵送可）
- 教員免許などの資格を持っていない人は、免許状の写しを添付してください。
- 申込締切 3月1日 困まで、午前8時30分から午後5時15分まで
- ※ 履歴書による書類選考の上、欠員が生じた時点で、登録者の中から面接を行います。（任用は4月1日以降となります）
- 任用期間 一年間（更新あり）

みやわか M for More Info 広報の配布

## 広報みやわか1月号は、 1月4日からの配布となります

● 問い合わせ 本庁秘書広報係 ☎ 32・0511

**毎**月、皆さんのお手元に配布している「広報みやわか」が「宮若生活」。1月号の配布日が通常と変わっていますのでお伝えします。

通常毎月1日から四日間をかけて配布しますが、1月号は1月4日から配布します。ここでは現在の配布について説明します。

**宮若市の全世帯に配布しています**

合併前までは自治会に入っていない世帯には、お届けできなかった広報紙ですが、現在では宮若市の全世帯に配布しています。

市内全世帯に配布するため、一日で配布することはできません。そのため、月始めから四日間をかけて配布します。天候の影響で配布日が異なることもあります。また土・日曜日、祝日（年末年始は除く）も配布しません。

**自治会長の自宅には二日間かけて郵送します**

各自治会の中で回覧する情報は、これまでどおり自治会長宛に郵送で対応しています。

**広報みやわか「宮若生活」**

もし、四日間を経過しても広報紙が届かない場合は、本庁秘書広報係にご連絡をお願いします。

そのときに、職員があなたのお名前と住所、電話番号をお尋ねします。その情報を元に地図で確認後、配布を行い、翌日以降配布漏れのないように対応します。

ご理解のほどよろしくお願います。

未配の連絡は本庁秘書広報係まで連絡をお願いします。



## 01 出場チームを募集します 親子キックベースボール大会

親子キックベースボール大会の出場選手を募集を行います。お問い合わせの上、参加しませんか。

- **とき** 3月18日(日)、午前8時30分集合、9時開会式
- **ところ** 西鞍の丘総合運動公園
- **参加資格** 市内に住んでいる小学生と成人
- **チーム編成** ▶地域公民館単位やジュニアクラブチームなどで編成すること(同一グループ2チーム以内)  
▶1チーム小学生5人(男女を問いません)、成人3人(男性1人、女性2人)とします。ただし、男性の代わりに女性でも参加はできます。



経験者ではなくても楽しめるキックベースボール。あなたの参加をお待ちしています。

- **申込締切** 2月3日(日)、午後5時まで
- **申込場所** 中央公民館、中央公民館若宮分館(希望者には、申込用紙をファクスで送付します。電話でのお申し込みはできません。ご注意ください)
- **代表者会議** 3月1日(日)、午後7時から
- **代表者会議会場** 中央公民館  
※大会に関する説明を行いますので、代表者が欠席する場合は代理人の出席をお願いします。
- **問い合わせ** 本庁スポーツ振興係 ☎32・0123



## Social Education Information SQUARE



## 03 世代を超えて楽しくスポーツ カローリング大会

子どもからお年寄りまで幅広い世代の方が気軽に楽しめるニュースポーツとして、平成18年度からカローリング大会を行っています。

毎年、たくさんの参加者で盛り上がりを見せてくれるカローリング大会。12月4日に宮田B&G海洋センター体育館で行った大会でも全27チームの選手がポイントゾーンをめがけ、楽しくジェットローラを転がしていました。

- **問い合わせ** 本庁スポーツ振興係 ☎32・0123

## 02 あなたに会いたい人がいます 平成24年宮若市成人式

- **とき** 1月8日(日)、午後1時受け付け、2時開式
- **ところ** 宮田文化センター
- **対象** 平成3年4月2日から平成4年4月1日に生まれた人



和気あいあいとした中で会議は進んでいきます。

成人式実行委員長に聞く  
岡本 郷史さん  
【Satoshi Okamoto】



「成人式を自分たちで作上げることができるなら、ぜひ参加しようと考えました。一生に一度しかないことですからね。今、実行委員会は18人。それぞれが思い出に残る成人式にしようと考えています。出席する皆さんが楽しんでもらえるようにしたいですね。今、大学で化学を学んでいます。将来どのような職業につくのかまだわかりませんが、固定観念に縛られることなく、若者として柔軟な発想をもって仕事に取り組んでいきたいと思っています。残りの会議の数も少なくなってきました。事務局の皆さんと力を合わせてがんばりたいと思います。」

- **問い合わせ** 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123

## 宮若いきいきスポーツクラブ1月事業参加者募集

「いきいきスポーツクラブ」は、スポーツを楽しみながら、健康で明るく、充実した生活を送っていただくためのお手伝いをさせていただくことを目的に活動をしています。詳しい内容についてはいきいきスポーツクラブ事務局 ☎34・7650にお問い合わせください。

### キャッチフレーズは「いつでも・どこでも・だれでも」

内容	とき・ところ	会費
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>とき</b> 1月13日(日)、27日(日)、午後8時から9時30分まで</li> <li>● <b>ところ</b> 宮田西中学校体育館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>会員</b> 無料</li> <li>● <b>一般</b> 100円</li> <li>● <b>小中学生</b> 無料</li> </ul> <p>特に決まった競技ではなく、卓球やバドミントン、スポーツチャンバラ、ビーチボールバレーなどを楽しめます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>とき</b> 1月16日(日)、23日(日)、午後8時から9時30分まで</li> <li>● <b>ところ</b> 宮田B&amp;G海洋センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>会員</b> 1,000円(月額)</li> <li>● <b>一般</b> 1,500円(月額)</li> <li>※ 当日の受け付けも可能です</li> </ul> <p>心と身体の健康を増進します。服装は動きやすい服装、ヨガマットがない人はバスタオルでも代用できます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>とき</b> 1月9日(日)、23日(日)、午後1時30分から3時まで</li> <li>● <b>ところ</b> 宮田B&amp;G海洋センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>会員</b> 700円(月額)</li> <li>● <b>一般</b> 1,000円(月額)</li> <li>※ 当日の受け付けも可能です</li> </ul> <p>腹式呼吸と胸式呼吸で、健やかな体づくりをすること。ゆっくりリズムのスポーツとして注目を集めています。</p>
	<p>身体を動かす楽しさや友達との交流の喜びを味わいながら健康づくり、体力の維持向上を図ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>とき</b> 1月12日(日)、26日(日)、午後1時30分から2時30分まで</li> <li>● <b>ところ</b> 宮田B&amp;G海洋センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>会員</b> 600円(月額)</li> <li>※ 参加者は入会することが条件となります。当日の受け付けも可能です</li> </ul>
	<p>歩くことは健康づくりの基本です。正しい歩き方をマスターし、より効果的なウォーキングを楽しめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>とき</b> 1月16日(日)、30日(日)、午後1時30分から3時まで</li> <li>● <b>ところ</b> 宮田B&amp;G海洋センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>会員</b> 300円(1回)</li> <li>● <b>一般</b> 500円(1回)</li> <li>※ 別途に保険料を徴収します。(小中学生は無料)</li> </ul>



**参加してみませんか  
第2回ふれあい・HAND講習会**

直方鞍手地域を中心とした精神保健福祉に関する普及啓発や精神障害者の社会への参加を促進するために、直方鞍手精神保健福祉研究会が講演会を行います。多数の参加をお願いします。

- **とき** 2月10日(土)、午後2時から3時30分まで(受け付けは午後1時30分から)
- **ところ** 直方鞍手医師会館、講堂
- **講演テーマ** 「コミュニケーションと人間関係」
- **講師** 上野行良さん(福岡県立大学人間社会学部教授)
- **参加費** 無料
- **定員** 200人
- **主催** 直方鞍手精神保健福祉研究会(ふれあいHAND)
- **申込期限** 1月31日(木)まで
- **申込み・問い合わせ** 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課精神保健係 ☎0948・21・4875

※「今月の健康」の記事については保健センターパレットまで ☎55・6000

**看護職員再就業に関する  
移動相談会を実施します**

保健師や助産師、看護師や准看護師の資格を持っていて、現在看護の現場を離れている人に求人情報や最新の医療、看護情報の提供を行います。そのほか求職者との面談もあります。

- **とき** 2月3日(土)、午前10時から午後4時まで(新規登録者の受け付けは午後3時まで)
- **ところ** クローバープラザ(春日市)
- ※ 相談時に免許番号、取得年月日、履歴などを記入していただきます。
- **問い合わせ** 社団法人福岡県看護協会福岡県ナースセンター ☎092・631・1221



# あなたのカラダ、健康ですか？ みやわか健康ポイント対象事業

市全体の健康機運を高めるために、市が昨年より始めた「みやわか健康ポイント事業」。事業始まって以来、「この先もずっと健康であり続けたい!」と願う多くの市民の皆さんが参加しています。ぜひ、あなたも参加してみませんか。

**おいしい物を食べて、自分の好きなことができて、家族と一緒に過ごすことができている。何気ない日々の中で「健康」について意識することはありますか。**

もちろん、健康になることが最終的な目的ではありませんが、今と同じように家族や大切な人と変わらない毎日を過ごすためには、健康な体と心が必要なんです。

病気になり治療や入院が必要になるとお金も時間もかかります。特に、病気の後遺症が残った場合や病気が完治することが難しい場合は、この先ずっと病気と一緒に生活していくこともあります。誰かを介護しなければならなくなったり、家族の中でそれぞれが担っている役割が果たせなくなるなど、今までの生活に大きな変化を生じることすら少なくありません。

健康でいると、普段の生活が当たり前になり、「健康でいること」の大切さになかなか気づくことができません。そんな「健康」について、皆さんに目を向けてもらうきっかけづくりとして、市が取り組みを始めたのが「みやわか健康ポイント事業」です。

**気軽に楽しく健康と記念品をゲット**

この「みやわか健康ポイント事業」は、市が行う各種健診の受診や運動教室への参加など、皆

さんの健康づくりをそっと後押しするだけでなく、対象の取り組みに参加した人には、もちろん記念品をプレゼントします。記念品には、みやわかの特産品セットや脇田温泉の入浴券、追い出し猫グッズ、万歩計などがあります。

仲間と楽しみながら健康づくりの習慣と関心を高めていくとともに、生活習慣病の予防や介護予防などにつなげていきましょう。皆さんもぜひ「みやわか健康ポイント事業」に参加し、健康と記念品を手に入れましょう。

詳しい内容は、みやわか健康ポイント事業のチラシや過去の広報みやわかをご確認ください。チラシは、市役所本庁や若宮コミュニティセンター「ハートフル」、保健センターパレットにも置いてあります。

皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



各種教室では、専門家があなたにあった指導を行い、より効果的な健康法を教えてください。

**みやわか健康ポイント事業の応募受付は2月29日までです**

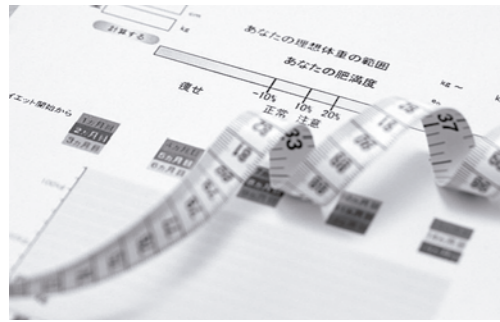
皆さんの健康づくりを応援する事業として始まった「みやわか健康ポイント事業」。対象となる健康づくりに関する事業へ参加して、ポイントを集めて、ご応募いただいた人には、もちろん記念品をプレゼントします。さらに、抽選で10人に豪華記念品が当たります。ふるってご参加ください。

- **対象者** 市内に住んでいる18歳以上の人
- **応募に必要な項目** ▷ 健康目標を立て3カ月以上取り組む▷ 健康づくり事業に参加してポイントシールをもらう▷ 各種健康診断を受診する
- **記念品までの流れ** 3つ全ての項目を達成したら、応募はがきに必要事項を記入し、切手をはって郵送または、本庁や若宮コミュニティセンター「ハートフル」、保健センターパレットなどに設置している回収箱に投函してください。
- ※ 記念品の発送は、3月末ごろを予定しています。
- **応募締切** 2月29日(木)まで
- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

この事業の取り組みについては、チラシや過去の広報をご確認ください。



**がん検診(子宮頸がん・乳がん・大腸がん)を推進します  
【がん検診無料クーポン券：2月29日まで】**



日本人のがんによる死亡者数は、年間30万人を超える状況です。しかし、診断と治療の進歩によって、早期発見・早期治療が可能となってきています。まずは検診を受けることが重要です。

市では、特定の年齢に達した人に、がん検診を無料で行っています。対象者には検診無料クーポン券を発送しています。この機会にぜひ検診を受診してください。また、がん検診以外にも各種健診を毎月行っています。詳しくは、お問い合わせください。

- **クーポン券の期限** 2月29日(木)まで
- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

**がん無料検診対象者**

種類	対象者
子宮頸がん検診	20歳、25歳、30歳、35歳の女性
乳がん検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性
大腸がん検診	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の男女

- ※ 対象者は、平成22年度中に対象年齢に達した人となります。
- ※ 指定医療機関など無料の対象となる条件がありますので、ご注意ください。
- ※ 詳細は個人通知でお知らせしていますので、通知をご確認ください。




**◆ 今月は特定健診も行います ◆**

自分の健康を過信せず、年に1回はきちんと健診を受診しましょう。

- **とき** 1月22日(木)、23日(金)
- **ところ** マリーホール宮田
- **対象者** 40歳から74歳までの宮若市国民健康保険に加入している人
- **検診料** 500円
- **申込期限** 1月20日(水)まで
- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000






<p>すぐ役立つ贈答のルールとお金の事典 21世紀マナー研究会 著、法研</p>  <p>あなたは年始回りや帰省のお礼、年賀はどうしていますか。贈答のルールを学んで、スマートに今年をスタートしてみませんか？</p>	<p>ドラゴン 飼育方方 ジョン・トプセル 著、原書房</p>  <p>十二支の中で、動物園で見る事が出来ないのが、今年の干支の辰。そんな辰の住まいや餌について丁寧に教えてくれる1冊です。</p>	<p>恐竜の谷の大冒険 マジックツリーハウス メアリー・ポー・オズボーン 著、メディアファクトリー</p>  <p>ジャックとアニーの冒険に、いつもドキドキさせられる小学生に大人気のシリーズ作品。1月には映画化され、ますます目が離せません！</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## New Books Coming up

新年、明けましておめでとうございます。  
新年の幕開けと同時に、1年の過ぎ去る早さにびっくりしてしまいます。  
みなさんの中には、昨年やり残したことを思い返す人もいるのでは？  
そこで、今回は「チャレンジ」をテーマに本を集めてみました。

みるみるスマートフォンプログラミングがわかる本  
掌田 津耶乃 著、秀和システム




「そもそもスマートフォンとは何か？」から「上級者向けのアプリの作り方」まで、今話題のスマートフォンを分かりやすく説明した1冊です。

facebook 完全活用術  
佐々木 和宏 著、アスキー・メディアワークス



時代の流れに取り残されないと決意したあなた！ facebookを活用して、プライベートもビジネスも充実した1年を過ごしましょう。

作家は教えてくれない小説のコツ  
後木 砂男 著、彩流社



読書が大好きなそのアナタ。今年は創作にチャレンジしてみませんか。小説の書き方のノウハウを教えてください。

仕事のカatalog 2012-13年版  
長沖 竜二 編集、自由国民社



どんな仕事があるの？ こんな仕事をやりたい！ 1600職種を紹介した、これからやりたい仕事を探すあなたにおすすめの1冊です。

本日は大安なり  
辻村 深月 著、角川書店



悩みを抱えたまま、結婚式当日を迎える登場人物たち。果たしてそれぞれの結婚式の行方はいったい…？ 今年ドラマ化もされます。

双調 平家物語1  
橋本 治 著、中央公論社



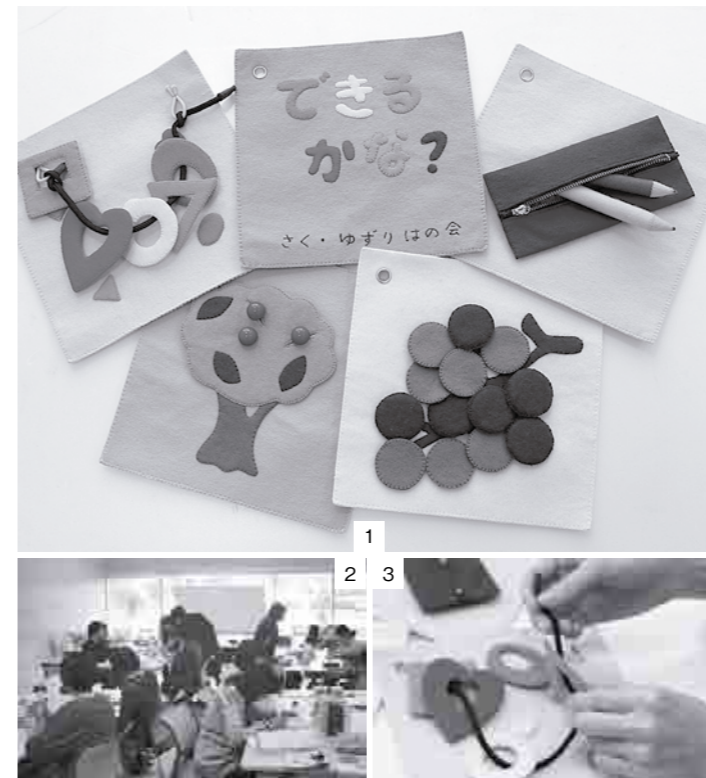
今年の大河ドラマとしても話題の「平清盛」。平家の栄華と没落を描いたこの本を読んで、あなたも太古へタイムスリップしてみては？

「源氏物語」が読みたくなる本  
山本 淳子 編、グラフ社



光源氏ってどんな人？ 作者が紫式部じゃないって本当？ これを読めば、源氏物語にまつわるさまざまな疑問を解決してくれるはず！

- 1月の「ハートフル」図書室休室日 1日～3日、10日、16日、23日、26日、30日
- 今月のおはなし会 1月21日(土)、午後2時から



① 見た目もカラフルで、つい手に取りたくなる布絵本。紙の絵本と違い、赤ちゃんが投げたり噛んでも安心です。② 初めての参加者でも講師が丁寧に教えてくれます。③ 赤ちゃんや幼児が日常生活にある手の動き覚えられるように、配置や仕掛けをみんなでいろいろと試行錯誤していきます。

● 問い合わせ 本庁図書館・文化振興係 ☎3220123

また、講座の中では「ゆずりはの会」が作成した布絵本の紹介もあり、参加者自らが手に取り、より魅力的な布絵本の作成に打ち込みました。

今回ご紹介した講座の参加者は、まもなく開館予定の宮若市立図書館「宮若リコリス」で引き続きボランティアとして活動していきます。

また、二回の講座で作成された布絵本は、全て「宮若リコリス」内で手にしていただけます。愛情を込めてひと針ひと針縫いあげられた皆さんの布絵本を、あなたもぜひ見て触れてください。

▽不器用な私でも丁寧に指導していただいたおかげで、かわいい布絵本が完成しました。

また、講座の中では「ゆずりはの会」が作成した布絵本の紹介もあり、参加者自らが手に取り、より魅力的な布絵本の作成に打ち込みました。

宮若市ボランティア養成講座  
「布絵本講座」

# わたしたちが 布絵本を作りました

昨年10月に行った「布絵本講座」。  
全5回にわたる講座には、20代から70代までの幅広い年齢の人が参加をしました。  
今回は、実際に受講した参加者の感想や講座の様子を紹介します。

布 絵本とはその名の通り、布でできている絵本のこと。紙の絵本と異なり、読んで楽しむだけでなく、ボタンをかけたたり、ひもを結んだり、赤ちゃんや幼児の五感を存分に楽しませるさまざまな工夫が施されているのが特徴です。

市が一昨年、昨年と行ったボランティア養成講座「布絵本講座」。この講座は、布絵本に興味がある人を中心に、実際に布絵本を作成してもらいながら、布絵本本来の魅力と楽しさを感じてもらおうことを目的に行っています。毎年、福岡県立図書館で活動している「ゆずりはの会」の人

たちが講師となり、初めての参加者にも分かりやすく指導を行います。

ここでは、昨年10月に行った講座の様子や実際に受講した参加者からの感想の一部をご紹介します。

▽初めての経験で間違えた部分もありましたが、講師や他の参加者に助けられて楽しく作ることができました。

▽1年目よりも内容が少しレベルアップしていて少し難しかったですが、みんなと一緒に作ったことで確実によい作品が出来上がりました。

### 図書資料の寄贈をお願いします

図書館を核とする生涯学習拠点施設「宮若リコリス」は、開館に向けて資料を収集しています

今 春開館に向けて着実に整備が進む図書館を核とする宮若市立図書館「宮若リコリス」。現在、市では資料の収集に力を入れています。図書館には新しい資料はもちろん、宮若市のことや県内、近隣の市町村などの地域情報などが記載されている本、郷土資料と呼ばれる資料が必要です。もし、家に眠っている本や貴重な資料があり、処分をどうしようかと考えている人は図書館へ寄贈をお願いします。





# RS 秋の健康づくりに300人が集結

脇田地区を堪能、宮若ウォーク



ゴールした皆さんには参加賞が配られました。全国農業コンクールで優秀賞を獲得した地黄卵や地元の食材など、好評を得ていました。

筑前東部地区郵便局長会が主催するウォーキング大会が11月6日、二百人を超える参加者を迎えました。この日は朝から強い雨が降り、関係者を悩ませましたが参加者のケガなどもなく、無事に大会を終えることができました。

西鞍の丘総合運動公園から俳句の道など、脇田地区を三時間かけて歩いた参加者の皆さん。今年も実施予定となっております。

# RS reader's style

## ご連絡お待ちしております

コミュニティ活動を広めたいという人でこのコーナーへ記事を掲載したい人は、本庁秘書広報係(☎32・0511)までご連絡ください。

市内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがリーダーズスタイル(あなたの生活)です。

# RS 今年最後は芋煮でほっこり

犬鳴川みどりの会、芋煮会

会員を始め、トヨタ自動車九州や宮若レインボーカンパニーの皆さんなど多くの人が作業に汗を流しました。



付けや、花壇への植栽を行いました。一方、東屋の前では二百人分を一度に作れる特製の大鍋に芋八十キロ、牛肉二十五キロを使った芋煮を調理。作業を終えた皆さんに振る舞われ、芋煮を頬張りながら一年の労をねぎらいました。

11月27日、犬鳴川河川公園で芋煮会を行いました。当日は11月下旬とは思えないほど暖かく、会員の皆さんは彼岸花の球根の植え付けや、花壇への植栽を行いました。

# RS 新鮮な野菜が並ぶ軽トラ市場

龍徳自治会、公民館による青空市場



鞍手竜徳高校は自分たちで育てたシクラメンなどを販売しました。地域と高等学校の新しい交流でもあります。



新鮮な野菜が特価で販売されるとあって、軽トラの周辺は人だかりとなりました。野菜購入者にはつきたてのお餅も振る舞われました。



12月18日、セブンイレブン百合野店駐車場で、龍徳自治会と公民館の共催で軽トラ市場が行われました。今年で二回目となるこの取り組み。自治会活動と公民館活動をつなげ、盛り上げようと試行錯誤してきました。自治会長の舟越義光さんは「今、イベントを行っても人が集まりにくい状況がありますが、それぞれをつなげることで、どちらの活動も活性化すればいいと思います。今回は鞍手竜徳高校の皆さんも協力していただきました。龍徳産の野菜を買って、つきたてのお餅を味わってほしいですね」と話してくれました。これから毎年行っていきたいと、年末への強い意気込みも話してくれた舟越自治会長。地域活性化の取り組みは続きます。

# RS 元関脇、水戸泉関が宮若に来たる

ベルホール鈴木、錦戸親方来場記念握手・サイン会



記念撮影も快く引き受ける錦戸親方。現役時代の豪快な相撲だけではわからない温厚な性格が、来場者の皆さんの笑顔を誘っていました。

11月12日、ベルホール鈴木で現在錦戸親方として活躍している元関脇、水戸泉関による握手会、サイン会が行われました。鈴木幹二会長とかねてから交流があったことから行っているもので、今年は老人ホームやデイサービスを利用しているお年寄り、一人一人が交流を楽しみました。豪快な塩まきで人気が高かった水戸泉関。サイン色紙を手渡し、楽しいひとときを過ごしました。

## 我が家の愛とる。

市内にお住まいで、満3歳までの宮若っ子を募集しています。2月生まれで掲載を希望する人は、1月16日頃までに本庁秘書広報係、支所市民グループまでお申し込みください。



はらだ みりか  
原田 美莉華ちゃん  
H 23年1月18日生  
(磯光)

1歳のお誕生日おめでと。みりかの笑顔はパパとママの幸せです。いつもありがとう。



ほんだ しょうたろう  
本田 祥太郎ちゃん  
H 23年1月30日生  
(乙野)

毎日たくさんお姉ちゃんたちと遊んで大きく優しい男の子になってください!!



まつもと はるか  
松元 陽空ちゃん  
H 21年1月20日生  
(磯光)

はあくん、お誕生日おめでと。早く仮面ライダーになれるといいネ。



やました 山田 れおちゃん  
H 22年1月26日生  
(鶴田)

もうすぐ2歳!! これからもたくさん食べて元気一杯だあ!!



やまもと あさと  
山本 麻人ちゃん  
H 23年1月22日生  
(沼口)

1歳のお誕生日おめでと。これからはもスクスク元気に育ってね。



**募集**  
invite information

**視覚特別支援学校の入学者を募集します**

北九州視覚特別支援 検索

県立北九州視覚特別支援学校幼稚園、高等部の入学者を募集します。

- **対象者** ▷幼稚園=平成20年4月2日から21年4月1日に生まれた視覚に障害のある幼児▷高等部専攻科=あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得を目指す人で、高校を卒業した人、また平成24年3月卒業見込の人
- ※ 視覚障害の程度は、次のいずれかの条件を満たしていれば入学できます。
- ▶ 両眼の矯正視力が概ね0.3未満であること
- ▶ 視野狭窄など視力以外の高度な視機能障害があること(身体障害者手帳の有無は入学の条件には含まれません)
- **募集期間** ▷幼稚園=1月30日頃から2月10日頃まで▷高等部=1月23日頃から2月3日頃まで
- **問い合わせ** 県立北九州視覚特別支援学校 ☎093・651・5419

**県立直方聾学校幼稚園入学者募集**

直方聾学校 検索

県内に住所があり、聴覚に障害のある3歳から5歳まで(平成18年4月2日から21年4月1日まで)に生まれた幼児が対象になります。

- **募集期間** 1月23日頃から2月3日頃まで
- **提出書類** ▷入学願書▷調査書▷障害者手帳のコピー
- **募集定員** 若干名
- **入学者選考** 2月22日頃、午前9時40分から受付
- ※ 手続きの詳しい内容についてはお問い合わせください。また、小・中学部の児童生徒の体験入学も受け付けています。
- **問い合わせ** 県立直方聾学校 ☎26・5351

**市営住宅空家入居者募集**

宮若市 市営住宅 検索

- **受付期間** 1月30日頃から2月10日頃まで
- **公開抽選会** 3月下旬(予定)
- ※ 募集団地や戸数は広報みやわか2月号でご確認ください。空家住宅がない場合は募集しません。
- **申込み・問い合わせ** 本庁住宅管理係 ☎32・0955

**県営住宅入居者募集(ポイント方式)**

福岡県 県営住宅入居 検索

- **受付期間** 1月10日頃から18日頃まで
- **募集団地** 県内にある県営住宅
- **申込書配布場所** 本庁住宅管理係、支所市民グループ
- ※ 対象団地や戸数などの詳細は募集案内書に掲載しています。
- **問い合わせ** 福岡県住宅供給公社 県営住宅管理部 ☎092・781・8029、県庁県営住宅課 ☎092・643・3739

**その他**  
others information

**下水道排水設備責任技術者(新規・更新)登録が始まります**

宮若市 下水道排水設備 検索

- **受付期間** 1月23日頃から2月3日頃まで
- **登録申請** 責任技術者登録申請書(下水道課で配布します)
- **提出書類** ▷新規者=責任技術者試験合格証の写し、他自治体交付の技術者証写し▷更新者=責任技術者証及び更新講習修了証の写し▷共通=住民票の写し写真2枚(3カ月以内に撮影したもの、縦3センチ×横2.5センチ)
- **登録手数料** ▷新規=2,000円▷更新=1,000円
- ※ 詳しくはお問い合わせください。
- **問い合わせ** 本庁下水道課管理係 ☎32・3159

**県母子寡婦福祉連合会母子部総会を行います**

来年度より国が行う予定の施策について勉強します。参加費は無料で託児もあります。

- **とき** 1月29日頃、午後1時30分から
- **ところ** クローバープラザ東棟5階
- **内容** ひとり親家庭の支援について
- ※ 託児希望者は、事前予約をお願いします。
- **申込み・問い合わせ** 福岡県母子寡婦福祉連合会 ☎092・584・3922

**I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット**



遠賀川の水質保全やごみ問題について住民団体の活動発表や流域首長による討論が行われます。「母なる遠賀川」の浄化に向けて一緒に考えてみませんか。

- **とき** 1月22日頃、午後1時受け付け、1時30分開会
- **ところ** イヅカコスモスコモン中ホール(駐車場も有ります)
- **入場** 無料
- **問い合わせ** 遠賀川河川事務所 ☎22・1830

**機能低下を予防するために**

身体機能の低下を予防することを目的に対象者に「基本チェックリスト」を送付します。

- **対象者** 市内に住んでいる65歳以上の高齢者で介護保険の要支援、要介護の認定を受けていない人で一定の条件に該当する人。(70歳、75歳になる人も送付します)
- **問い合わせ** 本庁老人福祉係 ☎32・0515

**「ゴルフ上達の秘訣」プロゴルファー、トークショー**

プロゴルファーによるトークショーを行います。

- **とき** 1月26日頃、午後6時から
- **ところ** 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- **講師** 野上貴夫さん(プロゴルファー)
- **テーマ** プロゴルファーからみたゴルフ上達の秘訣
- **問い合わせ** 若宮進出企業交流会事務局 ☎52・0640、宮田企業交流会事務局 ☎32・1200

**経済センサス活動調査を行います**

経済センサス 検索

2月から行う経済センサス活動調査は全ての企業、事業所が対象になります。調査結果は国の施策をはじめ、地域のための基礎資料として利活用します。

- **調査** 調査票は1月末日までにお届けしますので2月1日以降に提出してください。
- **問い合わせ** 総務グループ ☎32・0511



**これからの保育所について説明会を行います**



市では保育所のさらなるサービスの向上について検討を重ね、第1保育所の民営化を含めた基本方針を策定しました。この方針を広く皆さんに知っていただくために説明会を行います。

- **とき** 1月17日頃、午後7時から
- **ところ** 中央公民館学習室
- **問い合わせ** 本庁子育て支援係 ☎32・0517

**県立高等学校入学者選抜定時制課程特例措置があります**

福岡県 定時制課程 検索

県立高等学校定時制課程では、作文で入学者選抜を行う特例措置を一部学校を除いて行っています。

- **志願資格** 高校入学資格がある満20歳(平成24年4月1日現在)以上の人
- **願書配布場所・試験会場** 志願先の高等学校
- **受付期間** 2月15日頃から22日頃まで(最終日は正午まで)
- **試験日** 3月13日頃・14日頃
- **問い合わせ** 教育庁高校教育課 ☎092・643・3904

**子ども手当の手続きはお済みですか**

- **問い合わせ** 本庁児童母子福祉係 ☎32・0517

昨年の10月から子ども手当の制度が変わっています。監護、養育しているお父さんがある人は必ず申請をお願いします。該当する人には、10月上旬に認定請求書をお送りしています。

- **申請猶予期間** 平成23年10月1日現在で子ども手当対象の人は、3月30日頃までに手続きを完了すると、平成23年10月分までさかのぼって手当を受けることができます。

ただし、平成24年2月期の振り込みに間に合うためには、1月20日頃までに手続きが必要となります。ご注意ください。

※ 1月20日頃を過ぎますと、次の6月期支払に平成23年10月分から5月分がまとめて振り込まれます。



**2月 保健行事カレンダー**

- 1日 困** : **すくすく相談**  
受付は午前10時~11時  
保健センターパレット
- 2日 困** : **にこにこ運動教室**  
午後1時~2時  
保健センターパレット
- 7日 困** : **4カ月児健診**  
受付は午後1時~1時10分  
:**12カ月児健診**  
受付は午後1時15分~25分  
保健センターパレット
- 9日 困** : **1歳6カ月児健診**  
:**3歳児健診**  
受付は午後1時~1時10分  
保健センターパレット
- 14日 火** : **総合健診(要予約)**  
午前9時~10時30分  
保健センターパレット
- 15日 困** : **総合健診(要予約)**  
午前9時~10時30分  
保健センターパレット
- 16日 困** : **にこにこ運動教室**  
午後1時~2時  
保健センターパレット
- 21日 火** : **7カ月児健診**  
受付は午後1時~1時10分  
:**12カ月児健診**  
受付は午後1時15分~25分  
保健センターパレット
- 22日 困** : **2歳児歯科健診**  
受付は午後0時45分~1時  
保健センターパレット  
:**ベビーマッサージ教室(要予約)**  
①=午前10時~10時50分  
②=午前11時~11時50分  
保健センターパレット
- 24日 金** : **離乳食教室(前期・要予約)**  
午前10時~11時30分  
保健センターパレット
- 28日 火** : **すこやか食育教室(要予約)**  
午前10時~午後1時  
保健センターパレット

妊娠がわかったら妊娠届出書を持ってきてください。母子手帳を交付します。

- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000



**納期**  
tax・premium information

今月の納期(1月)

- 市県民税 第4期
  - 国民健康保険税 第10期
  - 後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第7期
  - 納期限 1月31日(日)
  - 口座振替日 1月25日(日)
- 納期限内に納付しない場合は督促状を発送します。その後の納付には100円の手数料が別途必要となります。また、納期限の翌日から期間に応じ、延滞金が発生します。(最初の1カ月は年利4.3%、以降14.6%)
- また、市税の納付は便利で確実な口座振替がお勧めです。早めにお申込みください。
- 問い合わせ 本庁収納・滞納対策係 ☎32・1008

下水道受益者負担金をお忘れなく

- 下水道供用開始区域の土地の所有者の皆さんは、建設費の一部を受益者負担金として負担していただいています。今回は第4期目の納期となります。詳しくはお問い合わせください。
- 受益者負担金 第4期
  - 納期限 1月31日(日)
  - 問い合わせ 本庁下水道課管理係 ☎32・3159

**相談**  
consult information

所得税の還付申告相談

- とき 2月1日(日)、午前9時30分から正午まで、午後1時から4時まで
  - ところ 中央公民館
  - 主な対象者 ▷年金収入があり、申告すると所得税が還付される人▷会社を退職し、年末調整をしていない人▷多額の医療費を支払った人▷住宅ローンで自宅を新築、増改築した人▷年末調整後に扶養親族、生命保険料控除などの追加がある人
  - 必要なもの ▷平成23年分の源泉徴収票▷平成23年中に支払った医療費の領収書や各種支払保険料控除証明書など▷本人名義の通帳▷印かん(シャチハタは不可)
- ※ 農業や自営業による収入の申告はできません。
- 問い合わせ 直方税務署 ☎22・0880


行政書士による無料相談会

- 「住民の暮らしと財産」をテーマに、各種相談に応じます。
- とき 1月22日(日)、午後1時から4時まで
  - ところ 中央公民館
  - 問い合わせ アソシエイツ宮若 主宰華村公一事務所 ☎42・3955

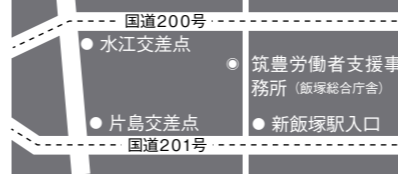
子どもの養育費に関する無料法律相談

- 母子家庭の養育費や金銭の貸借問題などの生活上の問題について、弁護士が相談に応じます。
- とき ▷1月4日(日)、午後1時から3時まで▷1月11日(日)、25日(日)、午後6時30分から8時30分まで
  - ところ 福岡県母子家庭等就業・自立支援センター
  - 相談予約 前日までに予約が必要です。1人の相談時間は30分です。
  - 問い合わせ 福岡県母子家庭等就業・自立支援センター ☎092・584・3922

行政相談委員による無料相談会

- 行政サービスに関することや行政の仕組み、手続きに関することなどお気軽にご相談ください。
- 中央公民館 ハートフル
- 
- とき 1月18日(日)、午前10時から午後3時まで
  - ところ 中央公民館、若宮コミュニティセンター「ハートフル」
  - 問い合わせ 本庁総務グループ ☎32・0511


職場のいじめ・セクハラ集中相談会

- 
- 労働者と事業主どちらの相談も受け付けます。予約は不要です。
- とき 2月8日(日)・9日(日)、午前9時から午後8時まで
  - ところ 筑豊労働者支援事務所
  - 問い合わせ 筑豊労働者支援事務所 ☎0948・22・1149

法務局休日無料相談所を開設します

- 相続や遺言、境界トラブル、成年後見や人権擁護など、気軽にご相談ください。
- とき 2月12日(日)、午前10時から午後4時まで
  - ところ コミュニティのおがた
  - 相談員 法務局職員、司法書士、土地家屋調査士、公証人及び人権擁護委員
  - 問い合わせ 福岡法務局直方支局 ☎22・1144

親と子のなやみ相談窓口を開設します

- 
- 子育てや家庭教育、いじめやひきこもりなど20歳未満の子どもに関する悩みや相談を受け付けます。面接は予約をお願いします。
- とき 1月13日(日)・14日(日)、午前9時30分から午後4時30分まで
  - 相談番号 ☎092・924・0848 (開設期間中の臨時電話)
  - ところ 太宰府市いきいき情報センター(太宰府市)
  - 相談料 無料
  - 予約・問い合わせ 県新社会推進部青少年課 ☎092・643・3388

クレジット・サラ金問題をご相談ください

- 福岡青年司法書士 検索
- 電話相談を通してクレジットやサラ金、ヤミ金融などについて司法書士がお応えします。
- とき 平日午後6時から8時まで
  - 相談電話 ☎092・724・9505
  - 問い合わせ 福岡県青年司法書士協議会担当増井敦章 ☎092・662・9417

確定申告の相談を行います

- 直方税務署では、平成23年分の確定申告相談会場を2月1日から開設します。土・日曜日、祝日は休みです。
- 所得税・贈与税 3月15日(日)まで
  - 所得個人事業者の消費税・地方消費税 4月2日(日)まで
  - 問い合わせ 直方税務署 ☎22・0880

**講座**  
lecture information

家族介護教室を行います

- 高齢化社会を迎え、介護を要する人が増加しています。介護方法の知識や簡単な技術を習得してもらうことを目的として次のとおり教室を行います。この機会に参加してみませんか。
- 主な内容 日常生活における介護方法について清拭、排泄、着脱など、専門の人をお呼びして講義、簡単な実技を行います。
  - とき 2月23日(日)、25日(日)、午後2時から4時まで
  - 対象者 高齢者の介護をしている家族。また、現在介護をしていなくても、介護について学習希望を持っている人も対象とします。
  - 定員 15人
  - ところ 保健センターパレット
  - 申込締切 2月10日(日)まで
  - 申込み・問い合わせ 本庁老人福祉係 ☎32・0515

**NUMBER INFORMATION** 数字で見る宮若市

● 11月30日が基準日

**事故・犯罪** 飲酒運転撲滅

福岡県警 検索		
交通事故	件数	1月からの累計
件数	24件	192件
死者	0人	0人
窃盗犯罪内容		
窃盗犯罪内容	件数	1月からの累計
車上ねらい	1件	29件
部品ねらい	3件	13件
乗り物盗	0件	31件
自販機ねらい	1件	7件
空き巣など	2件	34件

**火災** 住宅火災警報器設置しましたか?

火災種類	件数	1月からの累計
建物火災	0件	3件
その他火災	0件	4件
死者	0人	0人

**ごみ** 第2、第4日曜日は資源回収の日です

種類	重さ
ごみの量	696,910キロ
資源回収量	9,445キロ
1人当たりのごみの量	23.0キロ

※ ごみ減量目標は総合計画に掲げたもので1人が1カ月に出すごみの量を24.3キロ以内にしようとするものです。

**人の動き**

人口	53人 減りました	30,282人
男性	35人 減りました	14,271人
女性	18人 減りました	16,011人
世帯数	8世帯 減りました	12,955世帯
~14歳	12.5%	3,785人
15歳~64歳	59.5%	18,006人
65歳~	27.9%	8,451人
出生	20人	転入 47人
死亡	35人	転出 85人

**子育てが楽しくなる講座**  
ベビーとママの『はじめのはじめのいっぽ』 ● 申込み・問い合わせ 本庁児童母子福祉係 ☎32・0517

ベビーマッサージやあやし歌など、初めて子育てをするママのための子育てが楽しくなる講座です。赤ちゃんもママもお友だちを作りに参加してみませんか。

子育ての楽しさ、悩みや不安を同じ月齢の子を持つママ同士で語り合しましょう。ベビーマッサージなどの毎回、楽しいプログラムで皆さんの子育てを

- お手伝いします。
- とき 2月20日(日)から3月26日(日)までの毎週月曜日、全6回、午前10時から正午まで(できるだけ全講座に参加してください)
  - ところ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
  - 対象 市内に住んでいて、第1子が生後2カ月から4カ月の赤ちゃんとお母さん
  - 定員 12組まで(応募者多数の場合は抽選となります)
  - 参加費 無料
  - 申込期間 1月16日(日)から30日(日)まで
  - 持ってくる物 バスタオル1枚、タオル1枚
- ※ 体を締め付けられない動きやすい服装で参加してください。

この講座は他の市町村でも行われています。参加したお母さんたちからは「子育てに慣れず不安な時期だったので、外に出て色々な人に会えてほっとしました」といった声を頂いています。







成形された素材を人の手によってたたき出して整えています。どんなに優れた機材があっても熟練した技術にはかなわないと話す工場長。この地に立地し、ゼロから従業員の技術を高めていきました。



①工場に入るとすぐ、製品の元となるステンレスの板が私たちを迎えてくれました。用途にあった厚さを選び加工していきます。②ある程度の大きさにカットしたり穴をあける作業を行うこの機械。プログラム1つで動き、さまざまな形に仕上げます。③ステンレスを折り曲げる機械。曲げる角度に合わせて細かな調整が必要になります。

## 株式会社 タニコーテック

- 住所 福岡県宮若市四郎丸602
- 事業内容 業務用厨房機器、関連機器各種の製造



業務用の厨房機器メーカーのパイオニアとして業界をリードし続けるタニコー。その関連会社タニコーテック九州工場がこの宮若市に立地しています。設計から製造まで一貫して取り組むその工場内に迫ります。

「私たちの会社名を聞いても知っている人は少ないかもしれませんね。でも、食品関係の仕事をしている人やコンビニエンスストア、飲食店で働いている人がいたら、ぜひ尋ねてみてください。きっと私たちの会社を知っているはずですから。」

株式会社タニコーテック九州工場の工場長を務める田村圭一郎さんは話します。

私たちのまちには、ものづくりや人づくりに熱い企業がたくさんあります。そんな市内企業の取り組みからふる里を再発見するコーナー、「大人の社会科見学」。今月は業務用厨房機器の総合メーカーであるタニコー株式会社の関連会

見学案内は工場長

株式会社タニコーテック  
九州工場 工場長  
田村圭一郎さん  
【Keiichirou Tamura】



社、タニコーテック九州工場にお邪魔しています。

「昭和63年4月にこの場所に来てから、二十三年が経過しようとしています。ゼロから立ち上げた私たちにとってモノづくりがカタチになってきました。私たちの製品が一般の皆さんに知られてないのは業務用の厨房機器を取り扱っているからです。プロが求める要求にも応えられるよう、高い技術が求められています。

工場内には一台数千万円もする機械がたくさんありますが、本当に必要なものは人の技術。素材をたたいたり、曲げたり、磨いたりなどその全てに熟練の技術が不可欠です。」

### この地で進化し、挑戦すること

自社工場による一貫生産により高品質な機器を送り出しているタニコー。全国にその生産拠点をもちます。しかし、東日本震災により、福島県にある工場が被災。その影響は大きなものでした。

「お客様から注文をいただいているのですが、作ることができない。そこで、被災した社員をその他の工場へ受け入れ、対応していきました。大切なお客様を待たせないことも、もちろんありますが、社員の生活を守ることもあります。全国に生産拠点をもち、お客様から高い信頼をいただいているタニコーならではのこだわりがあります。

私たちの製品を直接見る機会は少ないかもしれませんが、私たちの製品で調理したものを口にされたことは一度はあるはずですよ。いつも通っているお店かもしれないし、コンビニエンスストアで調理される揚げ物かもしれません。これまで培ってきた厨房機器製造の経験を生かして、さらに高品質な製品を生み出していきたいと思っています。

私たちの工場は九州で唯一のタニコー製品の生産拠点でもあります。この宮若を核に、より多くの皆さんに使っていただいているようにこの地で進化し、挑戦していきたいですね。」



完成した厨房機器には「タニコー」のシールが貼られ、全国に出荷されます。一つひとつが手作りされることから、依頼主の細かいオーダーにも応えることができるとのこと。



溶接や研磨など、ステンレスの特性を理解した職人が加工を施していきます。「業務用の厨房機器が主ですが、最近ではその使い勝手の良さから、家庭用のものを作ってほしいと依頼があり対応しています」と工場長。





# 宮若探訪

日本の近代化を支えた「炭鉱」。宮若市もその一角を担ってきました。筑豊の風土や人のつながり、人と炭鉱の熱気につつまれたあの時。貝島炭鉱にまつわる作文を通して、当時を振り返ります。(作文の内容については本庁図書館・文化振興係 ☎ 32・0123 までお問い合わせください)



→八木山川にかかる丸鉄橋付近。貝島専用鉄道のものです。[写真提供・田代直彦さん]

## 追憶

作文：今村正勝さん（福岡市）・平成19年筆

犬鳴峠を越えて、これより宮田町という案内板を見かけると、石炭産業華やかだった当時のことが、よみがえってきます。宮田町には、筑豊でも大手の中に入っていた貝島炭鉱があり、最盛期には人口も多く、それに合った商店街もあり筑前宮田駅前より太蔵商店街までの両脇には、いろんな店が軒を連ねて、一日中買物客で賑っていました。大生映画館、宮田芝居小屋、遊技場、橋の下には養魚場あり、結構遊ぶこともできました。小高い所には、春日神社があり、夏祭りにはたくさんの人々がお参りと、祭り見物に訪れていて、広場にはサーカス小屋、見せ物小屋もでき、夜店も立ち並んで、裸電球の下で売られているいろいろな物を見て回るのが子どもにとっては嬉しく、小遣い銭をしっかりと握りしめて、一軒一軒店回りをしていました。

犬鳴川のほとりでの花火大会、大きな仕掛花火はありませんでしたが、単発ながらもきれいでした。両岸は大勢の見物客で埋まり、みなさん拍手喝采をしながら歓声をあげていました。

私は六坑二区の炭住に住んでいましたが、本当に、両隣の人々の温かい愛情と優しさに見守られながら、大之浦第三小学校（溝之浦小学校）に入学し、幼年期から青年期まで過ごしてきましたが、炭住の中にある共同風呂は、洗い場と上り湯に分かれており、これがプール並の大浴場で、昼頃までに入っては友人達とよく泳いでいましたが、時々管理人さんに怒られては、逃げ帰ったこともあります。一時を過ぎると炭じんが真黒に汚れて、目だけきよろりと光り、口元だけが白い人が入ってきてとても怖

く、じつと我慢して湯舟につかっておりました。汚れを落としたその人は優しい顔をしていました。風呂場そばに長井鶴銀座通りという商店街が、柿原商店より桂商店までの約三百米の両脇に酒屋、呉服屋、肉屋、菓子店となんでもそろっていて、買物ができました。

夏の風呂帰りに、アイスキャンデー屋に寄り、一本買い、のどの奥までしみる冷たい氷菓子は、本当においしかった。時々、半かけのをもらえるのも楽しみの一つでした。

貝島も石炭専用鉄道が走っていて、六坑より毎日のように、宮田駅まで石炭を運んでいましたので、大之浦中学校に通っていた時には、よく飛び乗って通学し、時には見つかったら、こっぴどく怒られたこともあります。怒られてもなかなか止めないのは、今の子どもと一緒にです。

石炭で走る機関車が好きで、時々運転室に乗せてもらい、機関助手の古庄さんに助けてもらいながら、釜の中に石炭を投げ入れたこともあり、良い思い出と体験をさせてもらいました。よく似た機関車が石炭記念館の中に展示されており、懐かしく感じています。昔の繁栄の跡を見る場所も少なくなりましたが、宮田町長井鶴の跡地には、また昔の面影を残している商店もあり、ときどき寄っています。石炭記念館の中に展示されている資料などは、貝島の歴史を物語る品々、大切に保管されて、のちのちまで引き継がれることを願っています。石油危機が叫ばれる昨今、公害の出ないようになされた設備のもので、また石炭が見直されるかも知れません。その時代が来ると、商店街もまたにぎやかになることでしょう。

## Timely

M E S S A G E

編集者のひとこと

「一月号の編集後記を書いてみない？」  
分りました、と返事したものの、ふと考えれば人生初の編集後記。正直、何を書こうかと頭の中はグルグル状態です。

今回、一月号のお知らせに関する四ページ分の編集をまかされて作りました。数字にすれば、たったの四ページ。ですが、これが意外と全然進まず。時間だけが刻々と過ぎていき、現実の厳しさを思い知らされました。

広報紙を含む多くの刊行物には、大きく分けて取材、編集、校正、印刷、配布という作業工程があり、たくさんの方の力によって作り上げられています。私が携わった編集工程では、原稿の一部を別の表現に変えたり、記事に合う写真の選定など限られた時間の中でさまざまなセンスが求められます。

たかが広報紙、されど広報紙。さまざまな人の思いが詰まった今月号のどこかに、私の汗と涙を感じていただけたら光栄です。

